

地域での支え合い活動に関するアンケート調査結果

地域福祉課

1 調査目的

県では、皆さんが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるように、地域住民の方々が互いに支え合い、助け合う活動を支援しており、今後の地域福祉の推進の基礎資料とさせていただくため、このような活動に対する皆さんの意識や現状について伺いました。

2 調査対象等

調査対象：県政モニター575人(うちインターネットモニター331人)

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：平成30年6月1日～6月15日

回収結果：530人(回収率92.2%)

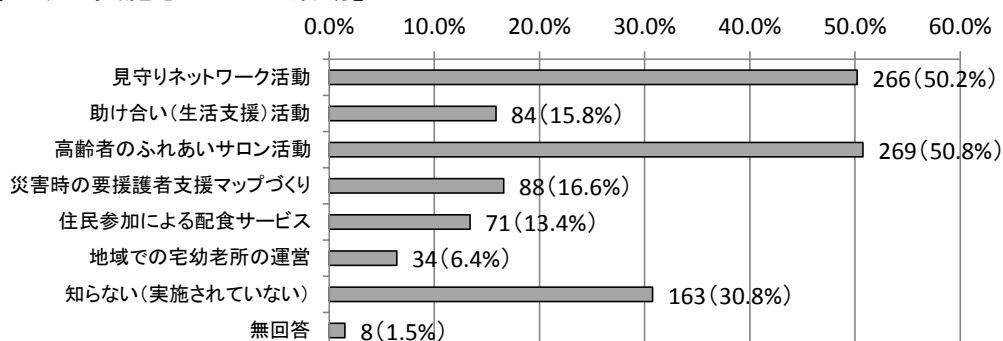
構成比はパーセントで表し、小数点以下第二位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

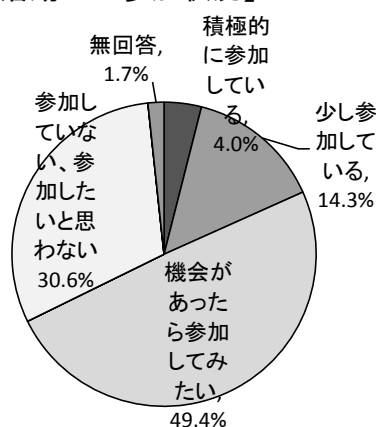
3 結果概要

○地域での支え合い活動の現状

【地域で実施されている活動】



【活動への参加状況】



【活動の継続実施のために必要なこと】(※上位3つ)

- ・活動を担う人材(58.8%)
- ・活動団体のネットワークづくり(15.5%)
- ・活動に対する資金的援助(11.3%)

【活動に参加しようと思うきっかけ】(※上位2つ)

- ・活動内容を紹介した広報誌の閲覧(33.0%)
- ・活動を実施するためのボランティア講座への参加(20.0%)

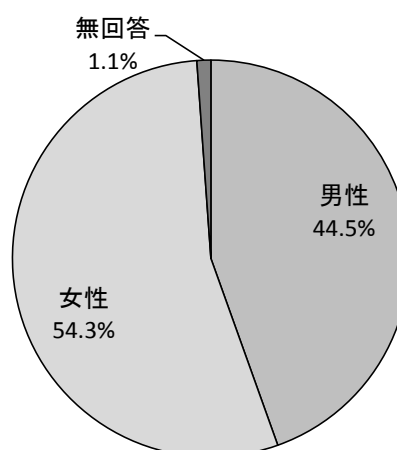
○高齢者支援として行政が重点的に取り組む必要がある項目(※上位3つ)

- ・身近な場所で気軽に何でも相談できる体制の整備(50.4%)
- ・外出の際の移動手段の整備(45.1%)
- ・介護保険の対象とならない軽微な介護や日常生活の支援の充実(44.3%)

4 回答者属性

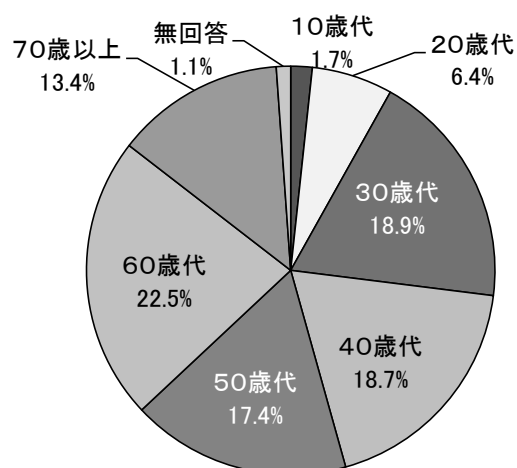
(1) 性別

| | 人数 | 割合 |
|-----|-----|--------|
| 男性 | 236 | 44.5% |
| 女性 | 288 | 54.3% |
| 無回答 | 6 | 1.1% |
| 計 | 530 | 100.0% |



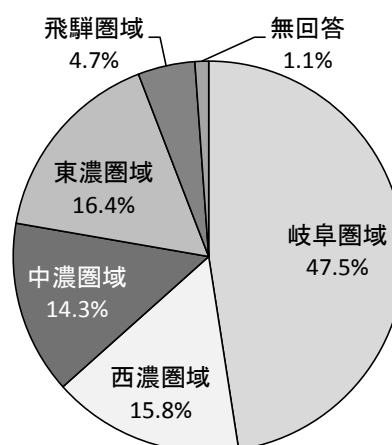
(2) 年代別

| | 人数 | 割合 |
|-------|-----|--------|
| 10歳代 | 9 | 1.7% |
| 20歳代 | 34 | 6.4% |
| 30歳代 | 100 | 18.9% |
| 40歳代 | 99 | 18.7% |
| 50歳代 | 92 | 17.4% |
| 60歳代 | 119 | 22.5% |
| 70歳以上 | 71 | 13.4% |
| 無回答 | 6 | 1.1% |
| 計 | 530 | 100.0% |



(3) 居住圏域別

| | 人数 | 割合 |
|------|-----|--------|
| 岐阜圏域 | 252 | 47.5% |
| 西濃圏域 | 84 | 15.8% |
| 中濃圏域 | 76 | 14.3% |
| 東濃圏域 | 87 | 16.4% |
| 飛騨圏域 | 25 | 4.7% |
| 無回答 | 6 | 1.1% |
| 計 | 530 | 100.0% |

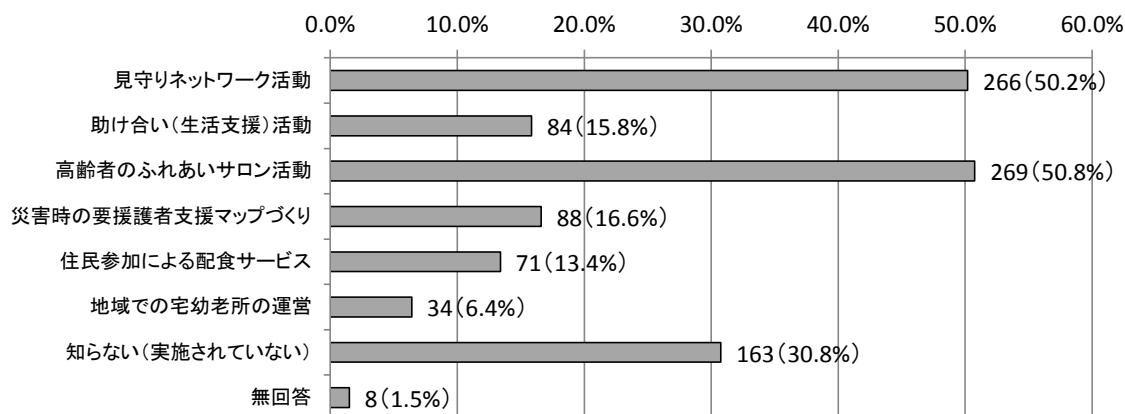


5 調査結果

問1 県では、地域福祉の推進を図るため、地域の住民の支え合い活動(以下、「地域支え合い活動」とします。)の実施を推進しています。

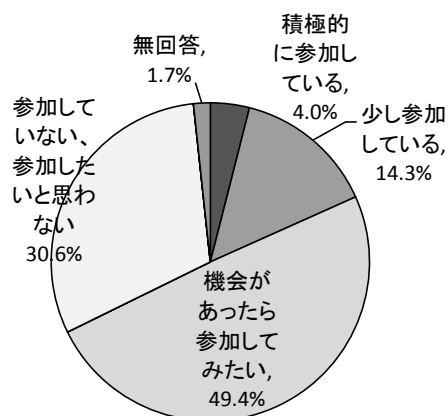
あなたのお住まいの地域(自治会や小学校区など)では、どのような地域支え合い活動が実施されていますか。(複数回答:すべて)

| | 回答数 | 割合 |
|------------------|-----|-------|
| 見守りネットワーク活動 | 266 | 50.2% |
| 助け合い(生活支援)活動 | 84 | 15.8% |
| 高齢者のふれあいサロン活動 | 269 | 50.8% |
| 災害時の要援護者支援マップづくり | 88 | 16.6% |
| 住民参加による配食サービス | 71 | 13.4% |
| 地域での宅幼老所の運営 | 34 | 6.4% |
| 知らない(実施されていない) | 163 | 30.8% |
| 無回答 | 8 | 1.5% |
| 計 | 983 | - |



問2 あなたは、問1で示した地域支え合い活動に参加(利用を含む)していますか。

| | 人数 | 割合 |
|----------------------------|-----|--------|
| 積極的に参加している | 21 | 4.0% |
| 少し参加している | 76 | 14.3% |
| (今は参加していないが)機会があったら参加してみたい | 262 | 49.4% |
| 参加していない 参加したいと思わない | 162 | 30.6% |
| 無回答 | 9 | 1.7% |
| 計 | 530 | 100.0% |

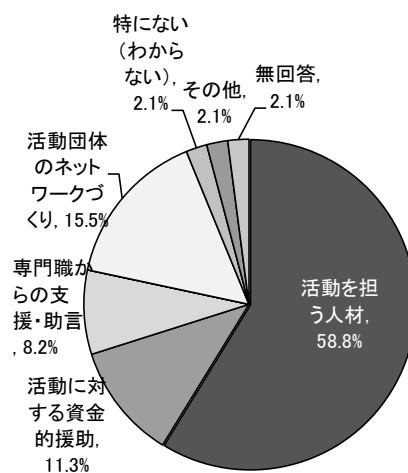


問3（問2で「積極的に参加している」「少し参加している」と答えた方）

あなたが、現在参加している地域支え合い活動が継続的に実施されていくためには何が必要だと思いますか。

回答者 97 人

| | 人数 | 割合 |
|--------------------------|----|--------|
| 活動を担う人材 | 57 | 58.8% |
| 活動に対する資金的援助 | 11 | 11.3% |
| 社会福祉士、介護福祉士等、専門職からの支援・助言 | 8 | 8.2% |
| 活動団体のネットワークづくり | 15 | 15.5% |
| 特にない(わからない) | 2 | 2.1% |
| その他 | 2 | 2.1% |
| 無回答 | 2 | 2.1% |
| 計 | 97 | 100.0% |



※「その他」のうち主なもの

- ・ 定期的な集まりと話し合い
- ・ まずは地域との接点を作るところから。
- ・ 団体をもっと公に募集し、組織を細かく作って、何かに誰でも属せる公共的な取組

問4（問2で「機会があったら参加してみたい」「参加していない、参加したいと思わない」と答えた方）

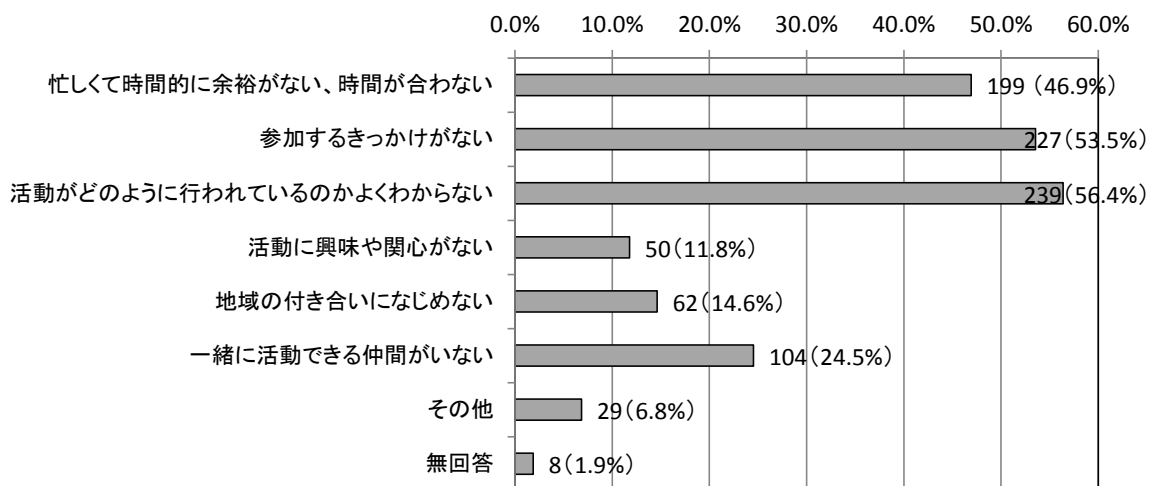
あなたが、現在、地域支え合い活動に参加していない理由は何ですか。

（複数回答：すべて） 回答者 424 人

| | 回答数 | 割合 |
|-------------------------|-----|-------|
| 忙しくて時間的に余裕がない、時間が合わない | 199 | 46.9% |
| 参加するきっかけがない | 227 | 53.5% |
| 活動がどのように行われているのかよくわからない | 239 | 56.4% |
| 活動に興味や関心がない | 50 | 11.8% |
| 地域の付き合いになじめない | 62 | 14.6% |
| 一緒に活動できる仲間がない | 104 | 24.5% |
| その他 | 29 | 6.8% |
| 無回答 | 8 | 1.9% |
| 計 | 918 | - |

※「その他」のうち主なもの

- ・自分がまだ若く、参加されている方の年齢が60代、70代の方ばかりのため参加しにくい。
- ・自治会役員でないとなかなか携わらない。
- ・短期的に参加できるかもしれないが、次へ引継ぐ方が見つからず継続的になるのが怖い。



問5（問4で「参加するきっかけがない」「活動がどのように行われているのかよくわからない」と答えた方）

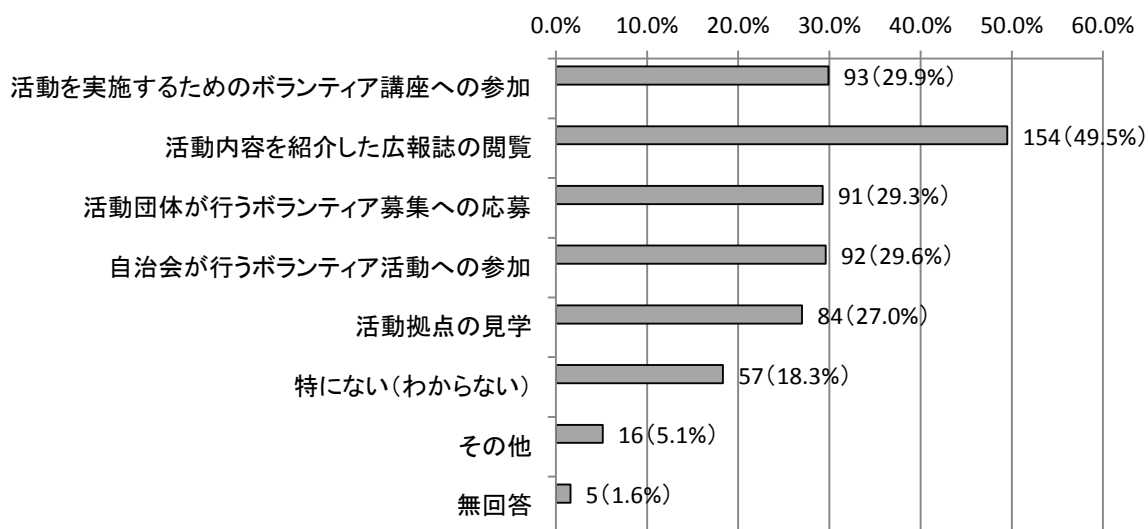
あなたは、どのようなきっかけがあれば、地域支え合い活動に参加しようと思いますか。

（複数回答:すべて） 回答者 311 人

| | 回答数 | 割合 |
|------------------------|-----|-------|
| 活動を実施するためのボランティア講座への参加 | 93 | 29.9% |
| 活動内容を紹介した広報誌の閲覧 | 154 | 49.5% |
| 活動団体が行うボランティア募集への応募 | 91 | 29.3% |
| 自治会が行うボランティア活動への参加 | 92 | 29.6% |
| 活動拠点の見学 | 84 | 27.0% |
| 特にない(わからない) | 57 | 18.3% |
| その他 | 16 | 5.1% |
| 無回答 | 5 | 1.6% |
| 計 | 592 | - |

※「その他」のうち主なもの

- ・ 活動をしている人から、お誘いを受けると良いと思う。
- ・ 活動に関する情報が入ってこないため、まず情報提供から必要である。
- ・ ボランティアではなく報酬や、何か利点があればやるかも。

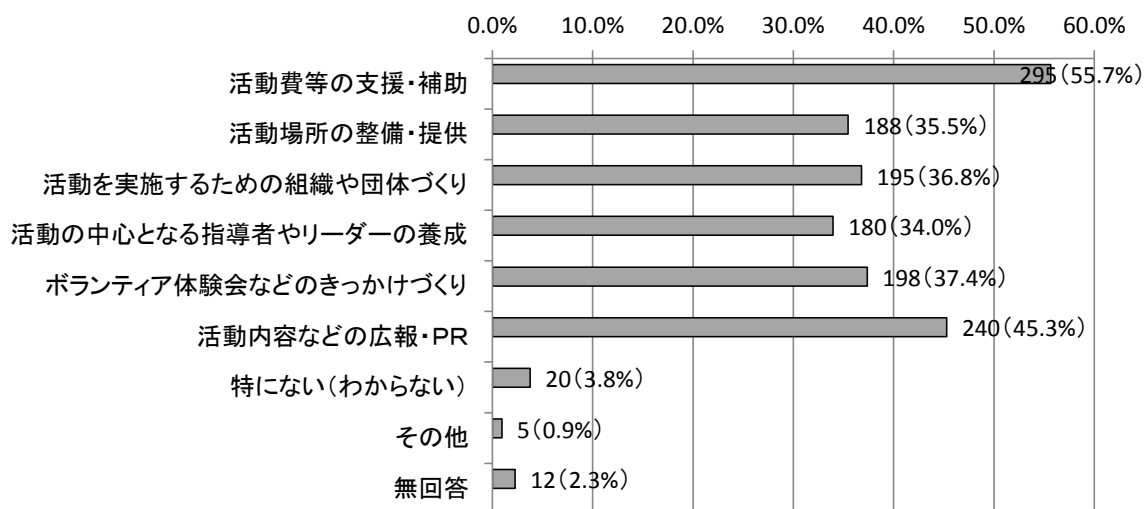


問6 住民参加による地域支え合い活動を普及するために、行政(市町村・県)が重点的に
 行う必要があると思うものは何ですか。
 (複数回答:3つまで)

| | 回答数 | 割合 |
|---------------------|-------|-------|
| 活動費等の支援・補助 | 295 | 55.7% |
| 活動場所の整備・提供 | 188 | 35.5% |
| 活動を実施するための組織や団体づくり | 195 | 36.8% |
| 活動の中心となる指導者やリーダーの養成 | 180 | 34.0% |
| ボランティア体験会などのきっかけづくり | 198 | 37.4% |
| 活動内容などの広報・PR | 240 | 45.3% |
| 特にない(わからない) | 20 | 3.8% |
| その他 | 5 | 0.9% |
| 無回答 | 12 | 2.3% |
| 計 | 1,333 | - |

※「その他」のうち主なもの

- ・ 地域に若者、子どもをふやしてほしい。年寄りばかりの町となり、県が、提案する活動を行っても、連合会が、行政からやらされているだけで、先細るばかりで、現場のやり手がいらない。
- ・ 土日休みではない勤務。定時定日ではない活動だと参加しやすい。
- ・ 市町村が、社協に丸投げすることなく、積極的に関わっていくことが必要と思われる。



問7 あなたは、高齢者の日常生活に関する福祉施策として、行政(市町村・県)はどのようなことに重点的に取り組む必要があると思いますか。(複数回答:3つまで)

| | 回答数 | 割合 |
|------------------------------|-------|-------|
| 身近な場所で気軽に何でも相談できる体制の整備 | 267 | 50.4% |
| 介護保険の対象とならない軽微な介護や日常生活の支援の充実 | 235 | 44.3% |
| 健康づくりや生きがいつくりの促進 | 227 | 42.8% |
| 外出の際の移動手段の整備 | 239 | 45.1% |
| 買い物支援の整備 | 162 | 30.6% |
| 支え合い・助け合いを目的とした地域住民間のつながりの促進 | 187 | 35.3% |
| 地域における認知症高齢者に対する理解の促進 | 79 | 14.9% |
| 特にない(わからない) | 11 | 2.1% |
| その他 | 11 | 2.1% |
| 無回答 | 7 | 1.3% |
| 計 | 1,425 | - |

※「その他」のうち主なもの

- ・ 市では各自治体と協同してコミバスを運行していますが、所用時間、便数で利用者が少ない地域があります。「福祉タクシー」(仮)など個別で対応できるようにならないものでしょうか。
- ・ 高齢者が、自分たちが何ができるかを考えられるような集会、サークルの提供があればと思います。
- ・ 私の意見ですが、買い物や、自己都合の移動などは、無料というのはよくないと思います。

